

社会的責任を果たす企業として、 サステナブルな社会の実現に貢献します

朝日工業社グループは従来より、企業理念および企業行動憲章に基づいた事業活動こそが、
企業としての社会的責任(CSR)を果たすことにつながるものと考えています。
この考え方を当社グループの基本姿勢として、ESG(環境・社会・ガバナンス)の各側面への対応強化を図り、
またそのプロセスの一つとして2030年までに
「持続可能でよりよい世界」を目指すSDGsに、グループ全体として取り組んでいます。



「朝日工業社グループSDGs基本方針」と「SDGsに係る取り組みテーマ・具体的な施策」

SDGs経営を推進するために、「朝日工業社グループSDGs基本方針」を策定するとともに、年度毎に「SDGsに係る取り組みテーマ・具体的な施策」を設定しています。設定した取り組みテーマ等については、取締役会で実績を評価して適宜見直しを行い、開示しています。

朝日工業社グループSDGs基本方針

当社グループは、「ASAHI-PHILOSOPHY」において、「情熱と技術で、世界をもっと最適に」を Purpose(企業の存在意義)に掲げ、「脱炭素・環境負荷低減を通じて人・地球の最適な未来を創造」することをマテリアリティに定めております。

当社グループのすべての役職員は、これに基づき、SDGs(持続可能な開発目標)の精神を十分に理解した上で、以下の6つの重点課題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

当社グループが取り組む重点課題と関連するSDGs目標

地球 Planet	地球環境の保全・資源の保護による脱炭素社会の実現 事業活動全般を通じて、地球環境の保全と資源の保護に努め、脱炭素社会の実現に貢献します。	12 つくばい つぎの未来 13 気候変動に 具体的な対策を
豊かさ Prosperity	持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供と品質・安全衛生の確保 これまで培ってきた省エネルギーをはじめとする環境技術の活用や研究開発の強化により、持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供と品質・安全衛生の確保に努めます。	7 エネルギー SDGに つなぐ 9 産業と 技術革新の 激進を つなぐ 11 住み続け るまち
人間 People	ワークライフバランスとダイバーシティの推進 事業活動に関係するすべての人々の人権と健康を尊重し、多様な人材が能力を十分に発揮し、また働きがいを持てる職場環境を確保・維持できるように、ワークライフバランスとダイバーシティを推進します。 働き方改革の推進とデジタル技術の活用による生産性の向上 事業プロセス全般において働き方改革を推進するとともに、デジタル技術を積極的に導入・活用することにより、生産性の向上を目指します。	3 すべての人に 健康と福祉を 5 ジェンダー 平等を 8 働きがい と経済成長 10 人や 国の平等 と包摂
パートナーシップ Partnership	ビジネスパートナー等との共存共栄とパートナーシップの強化 当社の事業に協力いただく関係先(ビジネスパートナー)との公正、透明かつ適正な取引により共存共栄を目指すとともに、産学官の連携も視野に入れて外部組織とのパートナーシップを強化し、持続可能な社会の実現に取り組みます。	17 パートナ シップを 強化しよう
平和 Peace	コーポレートガバナンスの拡充とコンプライアンスの強化 さまざまなステークホルダーの期待に応えられるよう、コーポレートガバナンスの拡充に取り組み、またコンプライアンス重視の経営を徹底して国内外の法令や社会規範を確実に遵守します。	16 平和と 正義を 守るため に努力を

「SDGsに係る取り組みテーマ・具体的な施策」の2024年度の実績評価と2025年度の取り組み

○…目標達成、△…進行中または一部目標達成、×…目標未達

当社グループが取り組む重点課題	関連するSDGs目標	取り組みテーマ	具体的な施策	2024年度実績評価		2025年度の取り組み	ISO26000中核主題(参考)						
							組織統治	人権	労働慣行	環境	公正な事業慣行	消費者課題	コミュニティへの参画及び発展
地球 Planet ◆◆◆ 地球環境の保全・資源の保護による脱炭素社会の実現	 	環境マネジメントシステムによる環境負荷の低減	事業所におけるエネルギー使用量の低減	○	各事業所ごとの基準年度から2%以上の削減を達成した。	左記の取り組みテーマ・具体的な施策をさらに推進し、実績向上を目指すとともに、新たな施策として「気候変動への対応に関する情報開示の拡充」に取り組む。	●			●	●		
			回収フロン類のリサイクル化	○	100%リサイクル化を目指し、全店で推進している。					●	●		
			産業廃棄物の適正処理	○	電子マニフェストシステムを利用して最終処分までの適正処理を確認した。					●	●		
		脱炭素社会の実現に向けたマネジメント強化	情報開示の拡充	○	TCFD提言に沿って開示する気候変動に関するリスクについて、分析に用いるシナリオを2℃から1.5℃に見直し、それに伴う影響の再評価を行った。		●			●	●		●
豊かさ Prosperity ◆◆◆ 持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供と品質・安全衛生の確保	  	持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供	客先に対するファシリティマネジメント提案の推進	△	提案実績数としては前年度を下回ったが、前年度より実施している提案内容の蓄積と情報共有をさらに推進し、これに注力して取り組んだ。	左記の取り組みテーマ・具体的な施策をさらに推進し、実績向上を目指す。						●	
			省エネ提案におけるCO ₂ 排出削減量の見える化の運用	○	実績値は前年度比若干減となったが、目標値は達成となった。					●		●	
			事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減	○	事業活動におけるCO ₂ 排出量を把握し、削減目標を設定した。今後はカテゴリごとの削減方法を検討していく。					●		●	
		研究開発の強化	コメ型ワクチンMucoRice 栽培環境に関する研究	○	AMED(日本医療研究開発機構)の支援を受け、GLP試験用原薬を必要収量確保し、研究を前進させた。							●	●
			液冷空調システム、潜熱・顕熱分離空調を中心とした独自ZEB空調システムの改善	△	各システムを新技術研究所へ実装し、現在建設中。ZEB認証取得を目指す。					●			●
			研究開発基盤の整備	△	当社独自の技術を取り入れた新技術研究所を現在建設中。ZEBの達成、LEEDやCASBEEなどの第三者機関による高ランクの認証の獲得を目指す。					●		●	●
		品質・安全衛生の確保	トラブル・クレームの未然防止と情報共有	○	トラブルは前年度と比較し削減され、引き続きトラブル件数ゼロを推進する。トラブル情報のワンペーパー化により情報共有を促進した。		●					●	
			品質・安全衛生管理の推進	○	日報クラウド管理の首都圏展開を実施し、今後全店へのさらなる展開を行う。				●				
		ワークライフバランスの推進	法定時間外労働時間の削減	△	技術職平均時間は前年度減を達成したが、事務職の平均時間が前年度比増となった。			●	●				
			有給休暇取得の奨励	△	公假付与制度の導入が影響し、有給休暇取得率は前年度比若干減となったが、継続して奨励を実施した。			●	●				
人間 People ◆◆◆ ワークライフバランスとダイバーシティの推進 働き方改革の推進とデジタル技術の活用による生産性の向上	   	ワークライフバランスの推進	育児休業取得の促進	○	男性、女性ともに育児取得率の目標値を達成した。	左記の取り組みテーマ・具体的な施策をさらに推進し、実績向上を目指すとともに、引き続き「法定時間外労働の上限規制(2024年4月より適用)の確実な遵守」に取り組む。	●	●					
		ダイバーシティの推進	女性総合職の採用	△	2024年度の目標比率は未達となったものの、実数(人数)値は前年度比増となった。			●	●				●
			女性管理職の登用	△	女性管理職の人数は前年度数値を維持した。			●	●				●
			障がい者の雇用確保	○	障がい者法定雇用率2.5%を上回った。			●	●				
			定年再雇用者の活躍推進	○	再雇用希望者再雇用率100%を継続して達成した。			●	●				
		働き方改革「Asahi Sun社員プロジェクト」のさらなる推進	法定時間外労働の上限規制への対応 ・業務の効率化、平準化の推進 ・労働時間に関するマネジメント強化	○	上限規制を遵守し、全部門で時間外労働時間を削減した。			●	●				
			健康的で働きがいのある職場環境づくり	○	働き方改革委員会においてテレワークや時差出勤を制度化し、職場環境の向上を図った。			●	●				
		デジタル技術の活用による生産性の向上	施工業務におけるデジタルツールの導入	○	BIMを活用した出来高管理システムの活用により業務削減を行った。				●				
			DX推進による業務改善(合理化・効率化)	○	生成AIを活用した各種書類作成業務の合理化・効率化に向けて試験を実施中。情報共有の迅速化・効率化に向けてクラウドストレージを全従業員へ展開した。				●				
パートナーシップ Partnership ◆◆◆ ビジネスパートナー等との共存共栄とパートナーシップの強化		サプライヤーとの連携強化/労働災害の根絶と安全衛生活動の強化	適切な関係維持と品質、安全確保に向けた協力関係の強化推進	○	本社安全衛生/ハトロールに他店社員の参画を実施し情報共有の促進を図った。協力会社事業主研修会、安全衛生協力会を通じた安全教育や安全大会、現場/ハトロールを例年に引き続き確実に実施した。	左記の取り組みテーマ・具体的な施策をさらに推進し、実績向上を目指すとともに、「労働災害の根絶と安全衛生活動の強化」に、協力会社とともに重点的に取り組む。			●		●		
			協力会社との公正な取引とインセンティブ強化	△	協力会社・個人表彰者数拡大を検討し安全協力会規定の見直しを協議中。				●		●		
		外部組織とのパートナーシップの強化	SDGsに関係する国内外のイニシアチブ・コンソーシアムへの参画	○	国連グローバルコンパクト4分野・10原則(人権・労働・環境・腐敗防止)の実践とその成果に関する報告書を提出した。			●	●	●	●		●
			全社的な社会貢献の継続実施	○	前年度と同程度に継続実施した。					●			●
		全社的な社会貢献の継続実施	その他、各事業店による地域社会貢献の継続実施	○	例年並みの社会貢献活動を継続実施した。					●			●
平和 Peace ◆◆◆ コーポレートガバナンスの拡充とコンプライアンスの強化		コーポレートガバナンスの拡充	コーポレートガバナンス体制の継続的強化	○	コーポレートガバナンスコードへの適切な対応を行うとともに、取締役会実効性評価で抽出された課題に対して、適宜対応した。	左記の取り組みテーマ・具体的な施策をさらに推進し、実績向上を目指すとともに、新たな施策として「投資家との面談のさらなる充実」[内部通報制度の有効性確保]に重点的に取り組む。	●				●		
			内部統制システムの確実な運用と簡素化に向けた検討	○	内部統制の不備はなかった。		●				●		
			広報・IRの推進	○	発信情報の掘り起こし、ブラッシュアップを行い、HPのリリース発信・メディア発信の情報(量)を充実化した。また、個人投資家向け会社説明会を実施し認知度向上を図った。(参加・視聴者数 前年度比約3割増)		●				●		
			投資家との面談の充実	○	中長期的な企業価値向上に向けて投資家との面談を積極的に行い、売買代金及び株価向上につなげた。(面談実施回数 前年度比約4倍)		●	●			●		
			BCPのさらなる浸透	○	BCP理解度向上に向けて全役職員対象にe-ラーニングによる教育を実施した。		●				●		
		実効的なコンプライアンスの浸透	コンプライアンスの徹底・強化	○	コンプライアンス教育を継続実施した。		●	●			●		
			内部通報制度の有効性確保	○	社外から寄せられた通報や相談事項を弁護士事務所と連携し、適切に対応した。		●	●	●		●		